

86. ^{なんごうみち}南郷道

選定箇所：盛金峠、館、和田（茨城県常陸大宮市）

概要：水戸を起点として、瓜連、大宮、大子を経て、南郷地域（福島県矢祭町・棚倉町周辺）に向かう脇往還である。その起源は南北朝期まで遡ることができ、軍事的な幹線道路として機能した。江戸時代に街道として整備され、久慈川の舟運の発達とともに、物資の輸送にも大きな役割を果たした。



写真提供：常陸大宮市教育委員会